

20 特別勘定に関する指標等

【1】特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区分	2018年度末		2019年度末	
	金額		金額	
個人変額保険	151		142	
個人変額年金保険	-		-	
団体年金保険	-		-	
特別勘定計	151		142	

【2】個人変額保険（特別勘定）の状況

①保有契約高

(単位：件、百万円)

区分	2018年度末		2019年度末	
	件数	金額	件数	金額
変額保険（有期型）	-	-	-	-
変額保険（終身型）	443	828	439	822
合計	443	828	439	822

②個人変額保険特別勘定資産の運用の経過

<運用環境>

- ・国内債券市場：国内長期金利は、年度前半は世界的な金融緩和政策の影響から低下基調で推移しました。年度後半は、2月の中旬頃までは米中貿易摩擦問題の進展等から上昇し、その後は、新型コロナウイルス感染深刻化の影響による市場混乱から、更に上昇して推移しました。
- ・国内株式市場：TOPIXは、2月の中旬頃までは米中貿易摩擦の動向等により上下する局面もありましたが、概ね堅調に推移しました。その後、年度末にかけては、新型コロナウイルス感染深刻化による経済悪化懸念から低下しました。
- ・海外債券市場：米国長期金利は、FRBの金融緩和政策のもと低下基調で推移しました。年度末にかけては、新型コロナウイルス感染の影響が深刻化するなか、FRBによる政策金利の緊急利下げ実施等から、更に低下して推移しました。
- ・海外株式市場：S&P500は、2月の中旬頃までは米中貿易摩擦の進展等から上昇基調で推移しましたが、年度末にかけては、新型コロナウイルス感染深刻化から経済悪化懸念が広がり、大きく低下しました。
- ・為替市場：ドル円は、年度末にかけて新型コロナウイルスの影響で市場が混乱するなか、一時的に円高に動く局面がありましたが、概ね狭いレンジで推移しました。一方、ユーロ円は2月中旬頃までは欧州の景気底入れ期待から円安基調で推移しておりましたが、年度末にかけては、欧州の新型コロナウイルス感染拡大を要因として、やや円高となりました。

【3】 年度末個人変額保険特別勘定資産の内訳

(単位：百万円、%)

区分	2018年度末		2019年度末	
	金額	構成比	金額	構成比
現預金・コールローン	7	4.8	6	4.6
有価証券	143	94.3	133	94.0
公社債	—	—	—	—
株式	—	—	—	—
外国証券	—	—	—	—
公社債	—	—	—	—
株式等	—	—	—	—
その他の証券	143	94.3	133	94.0
貸付金	—	—	—	—
その他	1	0.9	1	1.4
貸倒引当金	—	—	—	—
合計	151	100.0	142	100.0

【4】 個人変額保険特別勘定の運用収支状況

(単位：百万円)

区分	2018年度	2019年度
	金額	金額
利息配当金等収入	65	10
有価証券売却益	—	—
有価証券償還益	—	—
有価証券評価益	42	27
為替差益	—	—
金融派生商品収益	—	—
その他の収益	—	—
有価証券売却損	—	—
有価証券償還損	—	—
有価証券評価損	101	42
為替差損	—	—
金融派生商品費用	—	—
その他の費用	—	—
収支差額	6	△ 4

【5】 個人変額保険特別勘定に関する有価証券等の時価情報

(単位：百万円)

① 売買目的有価証券の評価損益

区分	2018年度末		2019年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
売買目的有価証券	143	△ 58	133	△ 14

② 金銭の信託の時価情報

当社は、2018年度末、2019年度末とも残高はありません。

③ 個人変額保険特別勘定のデリバティブ取引の時価情報

当社は、2018年度末、2019年度末とも残高はありません。

【6】 個人変額年金保険（特別勘定）の状況

当社は、2018年度末、2019年度末とも残高はありません。